

目次

概要	2
予算特別委員会	3 ~ 5
代表・一般質問	6 ~ 11
委員会の活動記録 意見書	12・13
審議結果、請願等	14・15
お知らせ	16

No.212

2017年(平成29年)4月21日

平成29年 第1回定例会

平成29年2月15日~3月14日

みなと 区議会だより

平成29年度予算総額
2,165億3,574万9千円を可決

「港区立がん在宅緩和ケア支援センター条例」を可決

議会ホームページが リニューアル

ホームページが新しくなりました。
これからも内容を充実していきますので、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。
<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>



港区議会

〒105-8511 港区芝公園 1-5-25 電話 03-3578-2920

ホームページ <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/minatokugikai>

今月の写真

作品名「さくら」
岡田 弘さん

表紙をあなたの写真で飾りませんか？
詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。

会議日程

平成29年第1回定例会 会議日程

2月15日…	運営委員会・本会議 会期決定 諸報告 区長所信表明	27日～3月3・6～8日 予算特別委員会 予算4案の審査
16日…	本会議 代表・一般質問4名	3月9日…
17日…	運営委員会・本会議 代表・一般質問7名 議案等付託 予算特別委員会の設置	運営委員会・本会議 議案付託 保健福祉常任委員会 議案の審査
21日…	4常任委員会 議案等の審査	10日…
22日…	4常任委員会 議案等の審査	予算特別委員会 予算4案・修正3案の審査
23日…	建設常任委員会 請願等の審査	13日…
		保健福祉常任委員会 議案の審査・委員長報告・中間報告
		14日…
		運営委員会・本会議 議案等の議決

定例会の概要

平成29年第1回定例会は、2月15日から3月14日まで開会され初日に区長から所信表明がされた後、11人の議員から区長、教育長及び議長に対して、代表・一般質問が行われました。

平成29年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の各予算は、予算特別委員会を設置し、2月27日から3月10日まで審査した結果、いずれも原案どおり可決しました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例制定・

条例改正・補正予算など24件を原案どおり可決・了承しました。

皆さんから提出された請願は、4件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書1件を可決し、関係機関へ送付しました。

そのほか、追加提出された人事案件は、教育委員会委員の任命について同意し、人権擁護委員候補者の推薦について3件を可決しました。

予算特別委員会の概要

2月17日の本会議において、全議員34名で構成する「平成29年度予算特別委員会」（池田こうじ委員長、いのくま正一副委員長、杉本とよひろ副委員長）を設置し、平成29年度各会計（一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計）予算の4案について2月27日から3月10日まで審査が行なわれました。

この中で、一般会計予算、国民健康保険事業会計予算、介護保険会計予算の3案に対し共産党議員団から修正案（歳入＝16億9524万4千円増、歳出＝民生費35億430万8千円増・土木費38億3641万円減・教育費6

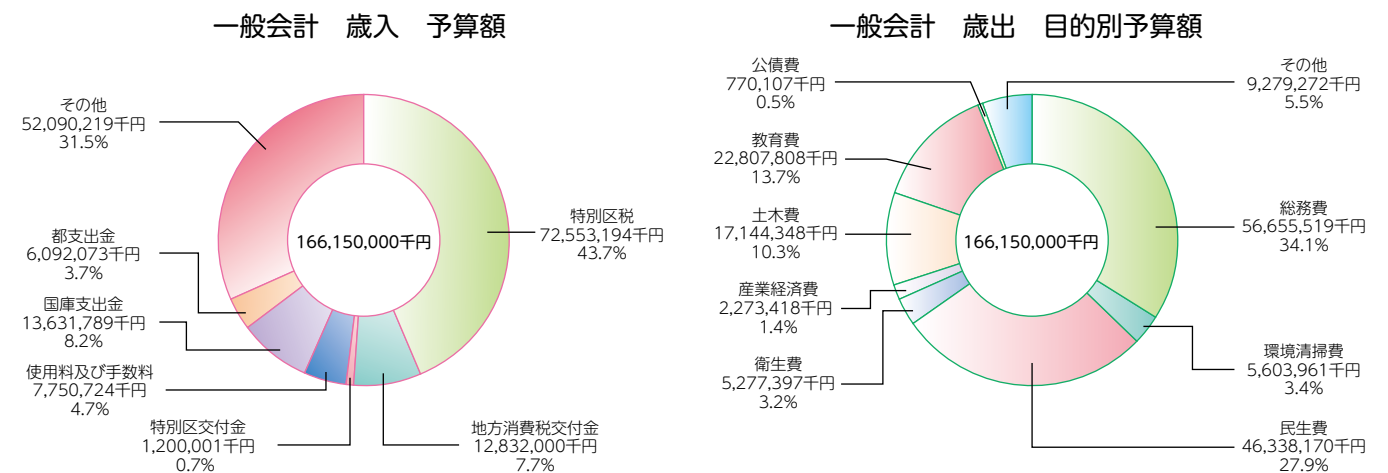
億4504万6千円増・諸支出金13億8230万円増）、（国民健康保険料6億1130万円減、繰入金6億1130万円増）、（介護保険料7億7100万円減、繰入金7億7100万円増）が提出されました。

3月10日の予算特別委員会最終日において、各会派が修正案及び予算原案に対して態度表明を行い、その後、採決したところ修正案は賛成少数で否決され、原案は賛成多数で可決されました。

その後、3月14日の本会議において、予算4案がそれぞれ賛成多数で原案のとおり可決されました。

平成29年度各会計予算の概要

会 計 別	予 算 額	対前年度当初予算増減率
一般会計	166,150,000 千円	38.1%
国民健康保険事業会計	28,253,409 千円	1.5%
後期高齢者医療会計	5,313,778 千円	9.5%
介護保険会計	16,818,562 千円	4.8%
合計	216,535,749 千円	28.1%



平成29年度予算に対する 各会派の態度表明

自民党議員団

磐石な財政基盤を堅持しつつ、港区ならではの施策を将来にわたり安定に推進し、我が会派の質問、要望等が反映されることを望み、予算原案4案に賛成、修正案に反対。

みなと政策会議

様々な区政の課題に積極的に取り組む姿勢を評価、我が会派の意見がしっかり反映されることを期待し予算4案は賛成。市街地再開発事業への考えの相違等から修正案は反対。

公明党議員団

平成29年度予算修正3案については全て反対する。平成29年度予算4案については我が会派の意見、質問、要望が反映されますよう要望し、全て賛成する。

共産党議員団

区の介護保険料は23区中一番高く、国保料も連続値上げ。給付型奨学金の対象拡大を国に求めず。203の区施設を民間丸投げ。再開発補助金38億円支出。4案は反対。

港区民と歩む会

今後も続く人口増加による住民サービス費など行政需要の増大を考えると、一層のメリハリのある予算が必要。財源に不安のある修正案には反対。予算原案4案には賛成。

街づくりミナト

市街地再開発支援補助金への立場の違いから修正案に反対する。予算原案は安全安心最優先である点を評価し、また区民が愛着と誇りを持つ街づくりに期待し賛成する。

予算特別委員会 各会派の主な質問・要望事項

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の表記は「東京2020大会」で統一しています。

●● 自民党議員団 ●●

【歳入】◆特別区民税収入◆特別徴収◆滞納繰越額の圧縮と収納率向上◆ふるさと納税

【総務費】◆国家戦略特区制度と活用した取り組み◆オリンピック・パラリンピック基金◆各種式典やイベントにおけるリアルタイム情報発信◆区職員の働き方改革に向けたICT活用◆やさしい日本語◆適正な職員数◆東京国際映画祭◆災害時のドローン活用◆高層住宅の震災対策◆青色防犯パトロールの活用◆オリジナル婚姻届◆多様性の理解◆自治体間連携の港区全体への広がり◆区有施設の木材利用◆港区地域防災計画◆オープンデータアプリコンテスト◆防災ラジオ◆地震発生時の怪我等の防止◆避難生活時の必需品の備蓄◆旧神応小学校の活用◆東京都旧白金職員住宅跡地の活用

【環境清掃費】◆持続可能な開発目標◆台場水質改善◆街なかの悪臭対策◆古川の環境浄化◆みなとタバコルール◆ヒートアイランド対策◆再生可能エネルギー◆みなと環境アプリ◆ごみと資源の排出状況◆清掃事業

【民生費】◆年金受給資格期間の短縮◆各種式典やイベントにおける高齢者への配慮◆障害者をサポートする対応窓口◆地域包括ケアシステムモデル事業◆介護事業者支援◆学習支援事業◆認知症初期集中支援事業◆保育環境◆民有地のマッチング事業◆未来の親体験～ここから始まる赤ちゃんふれあい事業～◆親支援プログラム◆保育園の食の安全◆各保育施設の均一的な管理◆児童相談所の一時保護所

【衛生費】◆健康危機管理機能の強化◆アピアランス支

援◆訪問歯科診療◆小児初期救急医療◆インフルエンザ予防接種助成◆がん検診◆民泊◆スズメ・ハトのふん被害◆子育てあんしんプロジェクト◆口腔がん検診

【産業経済費】◆港区観光振興ビジョン策定◆シティブロモーション推進事業◆社労士派遣事業◆体験型観光による地域産業振興◆商店街支援◆地元メディアを活用した観光プロモーション◆コミュニティビジネス支援事業◆ビジネスチャンスナビ2020

【土木費】◆品川エリアのまちづくり◆インターロッキングブロック舗装◆用途制限◆北青山三丁目地区まちづくりプロジェクト◆お台場海浜公園の水質浄化◆雨水流出抑制施設◆公園・児童遊園のトイレ整備◆古川の環境改善◆浜松町周辺の都市再生プロジェクト◆被災建築物応急危険度判定◆港区市街地再開発事業の事後評価制度◆台場シャトルバスの運行継続◆道路のバリアフリー化◆橋りょうの耐震化◆白金・白金台の地域交通網整備◆エレベーターの安全対策

【教育費】◆ラグビーワールドカップ2019日本大会◆東京2020大会に向けた気運醸成◆障害者スポーツの普及啓発◆日本語学級◆国際学級◆国際科の授業◆プログラミング教育◆新教育センター◆STEM教育◆海外派遣◆体力調査◆図書館◆内申書◆ICT教育環境整備◆学校のトイレ改修◆中学校の授業における幼児への関わり◆学びの未来応援施策◆奨学金の返還◆朝鮮初級、中級学校児童・生徒保護者補助金の所得制限◆各種学校◆公平性◆学校支援地域本部事業◆次期学習指導要領改訂◆学力向上に向けた取り組み◆日本伝統文化◆帰国子女

作業連絡所等の改築について◆喫煙所の更なる整備を◆ごみ通報システムについて

【民生費】◆待機児童対策について◆児童相談所について◆保育士の人材と質の確保について◆出会い応援プロジェクトについて◆港区版「ネウボラ」の導入を◆障がい者の就労後の居場所づくりについて◆障がい児の介助ボランティアの不足について

【衛生費】◆予防接種の助成拡充を◆動物殺処分ゼロを◆骨髓提供者へ助成金を◆グリーンケアへ積極的な支援を

【産業経済費】◆ベンチャー企業支援について◆最新IT技術の導入について◆プレミアム付区内共通商品券の考え方について◆一括免税カウンター設置について区の考え方と助成について◆港区の魅力について◆新たなシンボルマークについて

【土木費】◆分譲マンション内の民泊への対応◆耐震化の促進◆道路通報アプリの導入を◆景観計画改定後の状況について◆低コストで効果的な駐輪場運営を◆高齢ドライバーに免許証返納を促す取り組みについて◆公園等への防犯カメラの設置について◆新たなドックランを

【教育費】◆特別支援教育について◆幼稚園3年保育について◆学びの未来応援学習講座について◆ICT教育

●● 公明党議員団 ●●

【歳入】◆ふるさと納税の影響と今後の取り組み

【議会費】◆議会活動でのIT機器の活用

【総務費】◆マイナンバーカードの利活用◆震災時の高層マンション特有の課題◆NPO等公益活動への支援◆(仮称)文化芸術ホール◆火災における初期消火の重要性

【環境清掃費】◆事業者に対する食品ロス削減の取り組み◆廃食用油を用いた再生可能エネルギー

【民生費】◆保育士の人材確保◆高齢者も利用しやすい公衆浴場◆介護人材の確保◆オストメイトの排せつ支援◆子ども中高生プラザの音楽スタジオ◆障がい者の就労支援策◆里親制度

【衛生費】◆アピアランス支援◆新たな米の食文化◆口

の方向性について◆PTA活動の支援を◆図書館以外で本の貸出と返却ができる連携施設の周知と拡充を◆区内の趣味やスポーツのグループの情報を集めてわかりやすく情報提供すべき◆スクールカウンセラーについて◆人口推計と学校整備計画について◆SNS東京ルールについて◆副都心制度に基づく交流及び共同学習について

腔ケア◆ピロリ菌検査の周知啓発

【産業経済費】◆新技術活用支援◆販路拡大支援◆観光事業と自転車シェアリングの利用

【土木費】◆ちいばす◆エレベーター安全装置の設置助成◆自転車シェアリングの現状と今後の取り組み◆ちいばすの地域振興策◆公園等の遊具

【教育費】◆特別支援教育◆図書館のレファレンス機能の拡充◆音声教材

【後期高齢者医療会計】◆医療費抑制の取り組み

【総括質問】◆東京2020大会ボランティアの育成、拡大、活躍の創出◆落書きのないまちづくりの推進◆災害時のオストメイトへの支援◆院内保育所の開設支援◆生活支援コーディネーター◆口腔ケアと摂食嚥下機能向上施策の推進◆高齢者の交通事故の対応◆小学校の交通事故防止指導◆特別支援教育

●● 共産党議員団 ●●

【総務費】◆みなと荘の小学生は子ども料金に◆旧ホテルフロラシオン跡地の取得を◆東日本大震災被災者支援継続を都に要請を◆特殊詐欺の防止対策を

【民生費】◆障害者用トイレの抜本的改善を◆都有地を活用し直営の認可保育園建設を◆民間保育園の産休代替職員補助金の増額を

【環境清掃費】◆羽田空港の新飛行経路案は区民合意なしに進めないよう国に要求を

●● 港区民と歩む会 ●●

【土木費】◆運河護岸の危険箇所への対応について

【環境清掃費】◆下水放水の影響調査◆水鳥観察

【総括質問】◆防災備蓄燃料経年劣化の影響の検証

●● 街づくりミナト ●●

【衛生費】◆民泊新法へ区上乗せ条例を検討すべき

【土木費】◆自転車シェアリングのマナーについて

【総括質問】◆夜間景観の為の具体的な指針について

代表・一般質問 2月16・17日

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の表記は「東京2020大会」で統一しています。

自民党議員団

港区財政運営方針について

- Q. 来年度予算案への反映について**
A. 新たな財政運営方針に掲げた「将来課題を先取りする積極的・戦略的な財政運営」の具体化に努め、安全・安心なまちづくり、子どもの未来応援施策や働き盛り世代の健康対策の充実など課題解決型積極予算として編成した。

Q. 震災復興基金の意義

- A. 震災後の復旧復興活動には、多額の財源と長期的な支援が必要と見込んでいる。国や東京都に先駆け、一刻も早い区民生活の再建、事業の再開及び地域の再生を実現するため、基金を設置する。

Q. 震災復興基金が有効に機能するための平時の対応について

- A. 日常的にさまざまな団体等と連携を深め、震災発生時の役割分担の確認、人員、資機材の準備など、実効性のある復旧復興活動に備える。

Q. 予算編成過程の公開

- A. 予算編成過程の公開により、区政に対する区民の関心をより高め、参画していただく機会の充実につなげていく。

入札・契約制度について

Q. 見直しについて

- A. 区内事業者の受注機会増大、地域貢献意識の高揚、契約に従事する労働者の良好な労働環境確保等、見直し効果の検証とともに、事業者の意見を聴取し制度の充実を図る。

区政70周年記念事業について

Q. 成果と今後の展開

- A. 区政70周年記念の助成事業では地域の絆が深まり、新しい繋がりが生まれた。区民サービスの向上や地域社会の発展に着実に繋げていく。



パラリンピック競技大会について

Q. 気運醸成について

- A. パラリンピック競技の魅力を発信し理解を深めることは、障害者の生きがいや生活の質の向上、社会参加の促進、共生社会の実現などに大きな効果を生み出すものと考えている。



ICT施策について

Q. 公衆無線LANについて

- A. 今年3月までに区内JR駅周辺で新たに7ヶ所のアクセスポイントの整備を予定している。

がん対策について

Q. 取り組みの成果について

- A. 昨年10月にがん啓発イベントを開催し、また企業・団体と連携協定を締結した。今後も早期発見から患者等への支援に至るまで、幅広くがん対策を推進

していく。



Q. がん対策と働き盛り世代の健康づくりの一体的な取り組みについて

- A. 生活習慣の改善をテーマとした健康教育や健診後の保健指導の充実を図るとともに、区民、団体等の協力を得ながら、一体的な取り組みを推進していく。

Q. 港区立がん在宅緩和ケア支援センターの整備について

- A. 平成30年4月の開設後は、港区立がん在宅緩和ケア支援センターを拠点として、がん患者とその家族が住み慣れた地域で質の高い療養生活を送れるよう支援していく。

(仮称) 港区子ども家庭総合支援センターについて

Q. 児童相談所について

- A. 児童相談所を中核とした（仮称）港区子ども家庭総合支援センターを整備することにより、児童相談所の専門性の高い相談援助と、区が地域の関係機関とともに実施している妊娠期から子育て期、自立までの支援とを一体化させ、ワンストップで支援を提供できる。このことが区が児童相談所を設置する意義と考える。

Q. 地域との調和について

- A. 施設整備にあたり、周辺の街並みに配慮した外観とし、地域の意見を聴取する。災害時のための地域支援機能を備えた施設とする。

まちづくりマスタープランについて

Q. 将来像の実現について

- A. 想定を上回る人口増加への対応などへの取り組みを示すことを主なポイントとしてマスタープランを改定した。

Q. 周知について

- A. リーフレットの作成や、まちづくり関連の学習を発展させる等、普及啓発を行う。

まちづくりにおける支所機能について

Q. 支所機能の強化について

- A. 区が地域の中に入り住民の意向や地域特性を活かしていく。より良い合意形成が図れるように各総合支所のまちづくり機能の強化を検討する。

地域交通について

Q. 課題解決について

- A. 白金や白金台を含む交通不便地域への新たな地域交通の導入や、ちいばすルートについても短期的に解決すべき課題と認識している。本年4月に総合交通戦略の素案として取りまとめる。

学校と地域の連携を深める学校支援について

Q. 学校支援地域本部事業の今後の展開について

- A. 支援の拡大に取り組むことで教職員の負担を軽減し、子どもの豊かな学びに繋がる教育活動が展開できるよう、更なる充実を図る。

Q. 教育委員会事務局と総合支所の連携について

- A. 地域に開かれた学校づくり、特色ある学校づくりを推進するとともに、防災訓練や学校施設開放などを通じて学校が地域の拠点としての役割をこれまで以上に果たしていけるよう、各地区総合支所と緊密に連携する。

国際化推進について

Q. 推進の姿勢について

- A. 国際化推進プランで目指した多文化共生社会への取り組みを強化するとともに、引き続き一層の国際化推進を図る。

自治体間連携について

Q. さらなる充実について

- A. これまでの各地区総合支所や

商店街を中心とした交流に加え、スポーツや健康などにも分野を広げ、より多くの区民が参加できるよう全国各地との連携を充実させる。



離婚後の子どもの養育について

Q. 支援策について

- A. 家庭相談センターで養育費等に関する問題の解決を支援。今年度中にひとり親家庭支援策のハンドブックを作成し丁寧に情報提供。

災害時におけるペットとの生活について

Q. 避難所における柔軟なペットの受け入れについて

- A. 現在作成中の「ペット対応マニュアル」で避難所における標準的なペット対応を定める。

Q. 災害時に備えた飼い主の準備について

- A. 飼い主全員に災害時の心得も記した冊子を配布し啓発を進めている。今後は各避難所にケージ・ペットフード・リード等の備蓄も行う。



女性の包括支援について

Q. 取り組みについて

- A. 行動計画計上事業を女性のライフステージに結びつけ、区のホームページやリーフレットで情報発信をし、区民にわかりやすく周知する。

田町駅西口・札の辻交差点周辺地区について

Q. まちづくりについて

- A. 公園や広場の一体的な整備とともに、誰もが利用しやすく集い憩える賑わい交流空間となるよう、公園や広場の活用についても再開発準備組合を指導する。

地域包括ケアについて

Q. 24時間診療体制の整備について

- A. 来年度先行実施をする病床確保や相談窓口に加えて、24時間訪問診療の体制整備の必要がある。課題について地域の医療関係者と協議する。

望ましい学校体制について

Q. 日本語指導について

- A. 調査を実施したところ、日本語指導が必要な児童・生徒が100名を超えることがわかった。今後、日本語学級を、他の小学校に拡大することや、中学校での新たな日本語学級の設置について検討し、日本語学級に教員を配置する東京都と協議する。



Q. 学校の適正規模について

- A. 児童数増加に対応するため、新設校の整備や普通教室や給食設備不足に対応する。

安定した職員配置について

Q. 必要な部門への職員の適正配置について

- A. 業務量や困難度に応じた適材適所の配置を行っている。新たな課題や増大する行政需要に対応するため、今後も必要な職員を適正に配置する。

Q. 年度途中の柔軟な見直しについて

- A. 緊急度や業務内容を踏まえ、年度途中の人事異動以外にも臨時職員や人材派遣を活用し、業務を円滑に遂行できる体制を整える。

●●みなと政策会議●●

消防団活動の支援について

Q. 消防団の訓練場所の確保は大きな課題のひとつ。区有施設だけでなく民間の大規模再開発の際にも消防団の訓練場所と水利の確保について協力をお願いするべきである。

A. 区立芝公園、港南緑水公園、みなとパーク芝浦に訓練場所を確保している。今後は区有施設だけではなく、民間の大規模な開発計画を捉え、開発事業者へ訓練場所の整備について協力を求めている。



がん患者への新たな支援

Q. 将来子供をもつことを望む若年層のがん患者への精子・卵子の凍結保存の助成について考えを問う。

A. 引き続き情報収集に努める。

動物愛護について

Q. 都では動物の殺処分をゼロにしていこうとされているが、区はどうか。

A. 地域猫活動への支援、普及啓発を継続するとともに、今後東京都とも連携し取り組みを深める。

保育園待機児童対策について

Q. 0歳児、1歳児の待機児童数が増加している。入園希望者が保育園に落ちて職を失わないためにも、緊急の待機児童対策を。

A. 新たに4つの待機児童解消施策を来年度予算に計上した。今後も全力で取り組む。

成年後見制度について

Q. 幅広い支援が必要かと思われるがどうか。制度が定着することで、高齢者の権利擁護、一人暮らしの高齢者が長年暮らし

た地域で安心して生活できるのではないか。

A. 平成11年度から港区社会福祉協議会による事業を支援し、推進に取り組んでいる。引き続き取り組む。



予算編成について

Q. 新年度予算の重点施策と取り組みについて

A. 第一に「安全・安心で快適な都市の魅力を発展・成熟させる取組」として、震災復興基金の積立てや震災対策の促進、客引き防止強化や落書き対策。第二に「夢と希望に満ちた子どもの明るい未来につなげる取組」として、待機児童ゼロや早期の児童相談所設置に向けての取り組みや学習支援等。第三に「住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるための取組」として、がん対策の充実や地域包括ケアシステムの構築に取り組む。

まちづくりについて

Q. 港区まちづくり条例制定から今日までの状況を踏まえ、どのように考えているか。

A. 今後も地域の特性を活かしたまちづくりの支援ができるよう努めていく。

Q. 都市計画について、世界に誇れる港区の実現に向けての考えを問う。

A. まちづくりマスタープランの将来都市像「うるおいある国際生活都市」の実現に向け、社会情勢の変化に柔軟に対応し、港区ならではの魅力あるまちづくりを展開する。

Q. 旧耐震基準の分譲マンション建替え支援について、建替えが進むよう支援の利用が促進されるべき。

A. 建替え計画案の作成費用について、一部助成から全額助成に拡充する。今後促進されるよう、

新たにパンフレットを作成し周知していく。



Q. 用途地域の変更について。用途地域による制限で望む建築物が建てられず、再開発などの手法もとっていない問題への対応が必要。用途地域に関する定期的な見直しを都に働きかけるべき。

A. 東京都は地域の意向を反映するため地区計画決定時に用途地域を変更している。今後も都と連携・調整して適切な土地利用を誘導していく。

Q. まちづくりマスタープランの改定について。特区が目指す国際競争力の向上がどう反映されていくか。

A. 今回の改定では、産業の国際競争力強化や、日本経済をけん引する魅力的な拠点形成など、区に期待される役割や位置付けも盛り込み、まちの将来像を組み立てた。今後も環境のバランスに配慮したまちづくりを推進していく。

文化芸術振興について

Q. 2020年を見据え、港区の魅力を高めるためにも文化芸術の向上に力を入れていく必要がある。映画撮影の支援など、文化芸術振興に取り組むべき。

A. 現在、多くの区立公園をロケ地として開放している。今後サポートする仕組みを検討し、区内の文化芸術団体と連携を強化し、港区ならではの文化プログラムが年間を通じて行われるよう支援する。



モビリティシェアリング

Q. 区の策定した計画の中でモビリティのシェアリングについて言及されているが、今後の普及促進の取り組みは。

A. 港区まちづくりマスタープランや港区低炭素まちづくり計画に基づき、カーシェアリング等の普及促進を図っている。今後は民間事業者の協力を得ながら、その他の様々なモビリティシェアリングについても、普及促進を図る。

大規模災害への対策について

Q. 大規模災害に対し区はどのように取り組んでいるか。

A. 過去の大規模災害での教訓を踏まえ、地域防災計画に反映した。また、り災証明の発行に必要な建物の被害認定調査において、区内の建設関係団体と協力協定を締結し、体制の強化に取り組んでいる。今後も区の実状に即した災害対策を推進していく。

ベンチャーキャピタルについて

Q. 港区の経済を活性化させるために、区が積極的に創業支援に関わっていく必要がある。司法書士会や行政司書士会に窓口を請け負ってもらい、ベンチャーキャピタルとも協力関係を築くことで、創業支援、参入支援をしていくべきではないか。

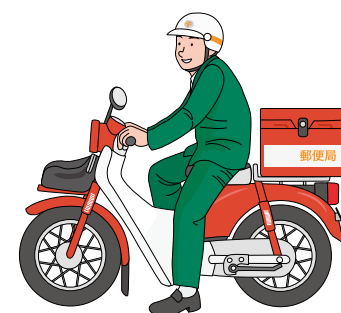
A. 自治体が投資型ファンドの活用を直接支援する例は少数。今後、調査・研究するとともに、創業や起業における複雑な事務手続きを効率的に進めることができる司法書士や行政書士の活用についても検討していく。

高齢者への見守りについて

Q. 区と日本郵便が提携し、高齢者が安心して暮らせるサービスを提供してはどうか。

A. 今後、郵便局等の地域の事業者を対象に見守りに関する講習会や認知症サポーター養成講座を開催し、高齢者への知識や

対応の向上を図るなど、実効性のある高齢者の見守り体制の構築に取り組む。



●●公明党議員団●●

区長所信表明について

Q. 所信表明に掲げる施策の実現に必要な取り組みを問う。

A. 多様な主体とのネットワークを全庁で共有し、質の高い行政サービスを実現する。

災害時の民間団体との協定

Q. 協力団体との協定見直し

A. 協定を締結している全ての団体について意思疎通を図り協定内容の見直しを行う。

避難行動要支援者への支援態勢について

Q. 個人情報適正に管理すべき。

A. 名簿を受け取る支援者とは「覚書」を締結し、要支援者名簿は鍵付きの保管をお願いする。

Q. 防災士を避難支援の担い手に。

A. 防災士資格取得後の事後研修会、日本防災士会港区支部や町会・自治会などとの意見交換をし検討する。

障害者の就労支援策について

Q. 今後の就労支援策の充実の取り組みについて

A. 新たな受注先の開拓や、共同生産の仕組みを構築するためのコーディネーターを就労支援事業所に配置する。



保育コンシェルジュについて

Q. 今後の配置予定と情報共有について

A. 新たに設置する保育課に1名配置し、今後各支所への配置を検討する。情報の分析を行い適切な支援を実施していく。

母子生活支援施設について

Q. 支援のあり方について

A. 施設の確保を含め、保護が必要な母子を適切に支援。

再生可能エネルギーの導入

Q. エネルギー大消費地の港区において再生可能エネルギーの導入・普及を視野に入れた施策を。

A. 再生可能エネルギー事業に参入する自治体との連携や区への導入方法を検証し、新たな仕組みづくりを進める。

区内中小企業の振興について

Q. 販路の拡大などの課題解決に向け、区内中小企業の更なる飛躍のために支援すべき。

A. 産業見本市や展示会出展への補助件数の拡大、通訳・翻訳費用等、海外市場への販路拡大支援を拡充していく。

がん予防・重症化予防対策

Q. 「改正がん対策基本法」をふまえて、どのように取り組むのか。

A. 感染により発症するがんの検査等の拡充や要精密検査者への個別受診勧奨等を検討する。



民間分譲マンションへの支援について

Q. マンションの空き住戸問題を国や東京都と協議すべき。

A. 空き住戸の解消に向け、具体的な対応策を東京都と意見交換する。

公明党議員団 (前頁の続き)

医療的ケアを必要とする児童の 教育環境の整備について

Q. 区立小中学校にも医療的ケア
サポート体制を作るべき。

A. 現在、医療的ケアを提供する児童はいないが、支援する体制を準備している。

発達障害教育について

Q. 発達障害教育の課題と今後の
方向性について

A. 課題は小学校入学時の就学前施設との連携、中学校の特別支援教室の在り方等で、来年度の港区学校教育推進計画を改定する際に、就学前から中学校卒業時まで一貫性のある支援について検討する。

小池都政について

Q. 小池都政への期待感。

A. 実効性ある施策を期待。

区職員の働き方改革について

Q. 超過勤務縮減への改革。

A. 全庁を挙げて取り組んでいく。

避難情報の名称変更について

Q. 名称と内容の周知を。

A. 様々な手段で周知する。

大規模災害時の支援受け入れ

Q. 今後の区の受援態勢は。

A. 国や都、特別区と連携し受け入れ態勢を備える。

防災備蓄品食品ロスについて

Q. 食品ロス削減の取り組みを。

A. 提供する際メッセージを添え食品ロス削減に取り組む。



歩道の空洞調査について

Q. 歩道空洞調査のルール化。

A. 早急に調査基準を定める。



電線類地中化促進について

Q. 地中化促進の加速を。

A. 新たな工法や財政支援制度も活用し、より一層進める。

学校における社会保障教育

Q. 取り組みの充実を。

A. 社会保険労務士会による出前授業を紹介していく。

共産党議員団

核兵器禁止署名の協力要請を

Q. 区民等に国際署名や平和首長会議署名への協力要請を。

A. 平和首長会議ホームページで署名できると周知する。

ホーム転落事故をなくす対策

Q. ①鉄道事業者ホームドア設置促進要請を。

②国に支援強化要請を。

③未設置駅はホームでの声かけの徹底を。

A. ①今後も、鉄道事業者ホームドア早期設置を要請する。

②鉄道事業者への支援要請をする。

③事故再発防止に向け、要請する。



視覚障害のある人らと事故のあった駅を調査
日本共産党国会議員団＝昨年8月25日

18歳までの医療費無料化を

Q. ①国の責任で、区の医療費助成を求めよ。

②小学6年生まで医療費無料化を要求せよ。

③18歳まで医療費を無料にすること。

A. ①特別区長会から、国の責任で、医療費補助を講じるよう求めた。

②今後も他自治体と連携し国に子ども医療費助成制度の創設を要望する。

③助成対象の拡大は現在考えていない。

児童扶養手当等を毎月支給に

Q. ひとり親世帯の収入が安定するように毎月支給にせよ。

A. 児童扶養手当の支給が変更となれば、適切に対応。児童育成手当は、児童扶養手当の支給動向を踏まえ検討。

障害者の施策充実について

Q. 都に対し、心身障害者医療費助成の対象に精神障害者を含むよう要請を。都が実施するまで、区が助成を。

A. 都への要請は考えていないが、全国市長会を通じ、国に、精神障害者を含む障害者への医療費助成は全国一律の制度を創設するよう要請した。

ちいばすの改善などについて

Q. ①子ども料金設定を。

②「区内観光名所循環ルート」運行へ、観光協会等の意見を聞き、早期具体化を。

③白金地域のジャンボタクシー導入に向け、請願者や町会の意見聴取を早急に行うこと。

A. ①現時点で考えていない。

②短期的課題と認識し、地域の意見を聞き、課題解決を図る。

③新たな地域交通の導入を短期的課題と認識し、本年4月の交通戦略の素案の中で意見を聞く。

豊洲市場の移転計画は中止を含め抜本的見直しを

Q. 都に対し移転計画は中止を含め抜本的見直しを求めよ。

A. 都への申し入れは考えていないが、区民や区内事業者への影響は注視していく。

羽田の新飛行経路案について

Q. 国交省に対して、

①教室型の説明会を港南、麻布、芝地域で開催すること。高輪、青山・赤坂地域の説明会を再度開催。区民等を参加対象とすること。質問に具体的に答えること。

②説明会場を区民等が参加しやすい時間帯、場所で確保せよ。③区民の納得がないまま押し通さないよう強く要請を。

A. ①・②・③国交省に対して要請し、申し入れる。



港区民と歩む会

区有地の不法占有について

Q. 排除の方針を伺う。

A. 取り組みを更に強化し、不正な物件の排除に努める。

泳げる海への取り組みについて

Q. 今後の取り組みを伺う。

A. 水質改善の取り組みについて知事に要望した。今後も区として泳げる海の実現に取り組んでいく。

運河の魅力向上について

Q. 橋りょうのライトアップについて

A. 平成29年度に計画を策定。関係官庁との協議や事業者等の意見を踏まえ、安全に配慮していく。



街づくりミナト

全国連携の展開について

Q. 週末を地方で過ごすといった二地域居住が国や都で議論されているが、二地域居住による新たな全国連携のロールモデルを模索してはどうか。

A. 区民が豊かな自然を体験し、全国各地の住民が港区に滞在するなど、互いの豊かな暮らしにつながる。今後も双方の情報提供に努める。



二地域居住の実践例 (NPO法人南房総リパブリック)

区民参画について

【要】様々な区の計画や方針を決定する際、検討初期段階から区民等の意見を広く聞き、説明会等で決定事項の報告ではなく、複数の選択肢を提示し区民意見を反映するように。

港区議会ホームページが 新しくなりました。

港区議会では、会議のお知らせや内容を港区議会ホームページでお知らせしています。今年度から、リニューアルにより、わかりやすく親しまれやすいホームページになりました。ぜひご覧ください。

区議会ホームページのアドレス
<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>
または「港区議会」で



議会はどうなっても 傍聴できます

区議会の会議は、公開されています。本会議、委員会とも傍聴できます。

傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お越しください。

保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることもできます。(事前申し込みが必要です)

【問い合わせ先】
会議予定について
電話 03-3578-2915
一時保育について
電話 03-3578-2911

各会派の連絡先

不在の場合は、区議会事務局へ
03-3578-2911

自民党議員団

電話 03-3578-2927
FAX 03-3578-2909

みなと政策会議

電話 03-3578-2938
FAX 03-3578-2949

公明党議員団

電話 03-3578-2935
FAX 03-3578-2937

共産党議員団

電話 03-3578-2945
FAX 03-3578-2947

東京維新の会

電話 03-3578-2958
FAX 03-3578-2854

港区民と歩む会

電話 03-3578-2958
FAX 03-3578-2854

街づくりミナト

電話 03-3578-2958
FAX 03-3578-2854

常任委員会の活動記録

総 務		●…審議案件 ○…主な質疑
●契約金額を変更する「専決処分について(浜路橋改良工事(耐震補強) 請負契約)」＜了承＞ ○消波ブロックの設置者 ○消波ブロック数の把握方法及び東京都下水道局からの情報提供	●職員の配偶者同行休業の期間の再度の延長ができる特別の事情について定める「港区職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○制度を利用し復職した職員が再度制度を利用することの可否 ●「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正を踏まえ、条例で定めることとされた育児休業の対象となる子について定めるほか、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和する「港区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○育児に係る部分休業と介護時間を同日に取得する場合の取り扱い ●財政調整基金の積立てに係る規定を改める「港区財政調整基金条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○適切な財政調整基金の規模 ○基金の積み立てによる区民サービスへの影響 ●震災後の区民生活の再建並びに産業及びまちの復旧復興に要する経費の財源に充てるため、基金の名称及び目的を改める「港区震災対策基金条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞	○震災発生直後の重機及び人材の確保 ○当該基金の活用の範囲 ●「平成28年度港区一般会計補正予算(第7号)」、「平成28年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第2号)」、「平成28年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)」、「平成28年度港区介護保険会計補正予算(第2号)」＜4案原案可決＞ ○生活保護における医療扶助が増加した要因 ○特別区民税の当初予算額と決算見込額の差 ●「地方自治法」第252条の36第1項の規定に基づき、平成29年度の包括外部監査契約の締結について承認を求める「包括外部監査契約の締結について」＜原案可決＞ ○包括外部監査人が他自治体の包括外部監査補助者を兼務することの可否 ○包括外部監査人候補者が応募時に希望した監査テーマ ●閉会中の委員会活動 ◆主な報告事項 ◇港区政70周年記念日プログラムについて ◇都市計画道路事業に伴う土地の購入について(元麻布一丁目)

保 健 福 祉	
●いきいきプラザの個人利用の使用料について、高校生の区分を定める「港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○一部の施設で小学生・中学生・高校生の利用料金が港区スポーツセンターよりも高くなっていること ○小・中学生の利用実績 ●港区立がん在宅緩和ケア支援センターを設置する「港区立がん在宅緩和ケア支援センター条例」＜原案可決＞ ○指定管理者を導入した場合の運営に	対する区のかかわり ○区外在住者からの問い合わせに対する対応 ●「児童福祉法」の一部改正に伴い、規定を整備する「港区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例及び港区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○ひとり親家庭等医療費助成の助成内容 ○助成対象世帯数 ●心身障害者福祉手当の支給対象とする特殊疾病者の規定方法を改める「港

区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞
○これまでの特殊疾病の追加による対象者数の変化 ○難病医療費助成対象者への周知方法 ●「介護保険法施行令の一部を改正する政令」の施行を踏まえ、保険料の所得段階区分の判定における基準の特例を定めるほか、保険料の減免申請期限を改める「港区介護保険条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○特別控除の対象となる項目と確認方法

○国民健康保険料における特別控除適用時期との比較 ●国民健康保険の保険料率等を改定するとともに、「国民健康保険法施行令」の一部改正に伴い保険料の減額措置を拡充する「港区国民健康保険条例の
--

一部を改正する条例」＜原案可決＞
○改正内容の区民への周知方法 ○特別区の平均上昇率より上回る港区の世帯数 ●閉会中の委員会活動 ◆主な報告事項

◇白金いきいきプラザ及び豊岡いきいきプラザの給水ポンプ交換工事に伴う臨時休館について ◇臨時福祉給付金(経済対策分)の支給について
--

建 設	する「港区特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞	管理者を指定する「指定管理者の指定について(港区立六本木駅自転車駐車場)」＜賛成多数で原案可決＞
●「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の施行に伴い、手数料を新設する「港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○従来の制度における届出の中で省エネ性能が著しく不十分な物件の有無 ○標準入力法とモデル建物法のメリットとデメリット ●特定公共賃貸住宅の一部の住戸について、高齢者向けに転用できることと	○所得区分と家賃の算定方法 ○住宅を使用承継できる対象者の範囲 ●区営住宅シティハイツ六本木の建て替えに伴い、戸数を変更する「港区営住宅条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○住宅タイプ別の入居可能世帯人数 ○裁量世帯となる心身障害者の定義 ●港区立六本木駅自転車駐車場の指定	○今後の自転車駐車場の整備計画 ○指定管理者が変更となった場合の機器の入れ替えと区の費用負担 ●閉会中の委員会活動 ◆主な報告事項 ◇港区市街地再開発事業に係る事後評価制度(素案)について ◇赤坂二丁目道路整備工事について

区 民 文 教	●「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正に伴い、要介護者を介護する幼稚園教育職員の介護時間の新設及び超過勤務の制限について定める「港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞ ○幼稚園教育職員の育児休業及び介護	休暇の取得状況 ○介護を理由とした幼稚園教育職員の退職の有無 ●閉会中の委員会活動 ◆主な報告事項 ◇中小企業の景況について ◇港区一般廃棄物処理基本計画(第2次)(中間年度改訂版・素案)について
---------	---	---

意見書を提出しました(要旨)

無料公衆無線LAN(W i - F i)環境の整備促進を求める意見書		
1 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対するW i - F i 環境整備支援事業を一層拡充すること。	3 防災の観点から、避難所・避難場所の学校、防災拠点や、帰宅困難者の一時滞留場所等として想定される公的拠点へのW i - F i 環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること。	内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣 あて

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

[illegible]

皆さんから提出された請願

継続審査とした請願

▼中学校で使用する歴史・公民教科書の採択に関して教育基本法を順守して行うことを求める請願

▼JR「品川新駅（仮称）」の駅名を「芝浦」とすることを要望する請願

▼羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート設定
中止に関する請願

▼ライドシェア・白タク合法化反対の意見書採択を求める請願

請願書の書き方 皆さんの声を区政に！

区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願として受け付けています。

【書き方】

(A4 判用紙・おもて)

(A4 判用紙・うら又は 2 枚目)

特に定められた様式はありませんが、右記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。

②請願者の住所、氏名（自署又は記名押印）、電話番号
を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代
表者を定めて署名簿を添付してください。

③あて先は「港区議会議長」としてください。

提出前に、事前に区議会事務局に請願書の書き方・提出方法などをご相談ください。

【問い合わせ先】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

〇〇〇〇に関する請願

港区議会議長
〇〇 〇〇様

提出年月日

請願者
住 所
氏 名
(署名又は記名押印)
電話番号

③ 依頼の趣旨（簡潔に）
 ○○を○○○してほしい。

請願理由

請願の趣旨に沿った
具体的な内容を
ご記入ください。

 港区議会Facebook、議会の映像をごらんください!!

会議のお知らせや、議会でのさまざまな活動について、写真等できるだけわかりやすく、皆さんにお知らせできるようこまめに情報発信してまいります。皆さんからの「いいね！👍」をお待ちしています！！

●港区議会Facebookのアドレス

<http://www.facebook.com/minatokugikai>

本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継(生中継・録
画中継)をしています。

●区議会ホームページのアドレス

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

または「港区議会」で 検索

一時保育のおしらせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることができます。

詳しくは、区議会事務局へ電話等でご相談ください。なお、会議の開会
予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】 区議会事務局議会総務係

電話 03-3578-2911

港区政70周年記念事業として議場コンサートと届け出挙式が開催されました！

3月15日(水)に、港区が誕生して70周年を迎えました。この区政70周年を記念して、議場にてコンサートと届け出挙式が開催されました。議場コンサートでは、東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部によるはつらつとした演奏とサントリーホール室内楽アカデミーの若い音楽家を中心とする「港区政70周年記念祝祭カルテット(弦楽四重奏)」に同ホール オペラアカデミーの歌手も加わる特別アンサンブルが行われました。

届け出挙式では、港区議会の議場で司式者である武井雅昭港区長、うかい雅彦港区議会議長それぞれの立合いのもと、6組のカップルが婚姻という人生の記念すべき日を華やかに迎えました。



東海大学付属高輪台高等学校
吹奏楽部の演奏



港区政70周年記念祝祭
カルテットの演奏



届け出挙式でのうかい雅彦
港区議会議長



届け出挙式での武井雅昭港区長

議場コンサートが開催されました！

3月28日(火)、お昼休みの時間帯に港区議会の議場にてコンサート(港区主催)が開催されました。今回は、港区音楽連盟 ミナトシティ男声合唱団による明るい歌声と港区華道茶道連盟によるお花のコラボレーションが披露されました。

ご来場いただいた皆さんには、お昼のひととき、美しいお花と合唱の素敵なハーモニーをお楽しみいただきました。



米軍ヘリポート基地の撤去・返還を要請

港区は23区で唯一、米軍基地があります。特に米軍ヘリポート基地(六本木七丁目23番・国立新美術館隣)は、米軍ヘリコプターの離発着による騒音と事故発生の危険性が問題となっています。

2月8日区議会では、正副議長及び自民党議員団・みなと政策会議・公明党議員団・共産党議員団の代表が区長とともに防衛省と東京都庁を訪れ、防衛大臣と都知事に対し要請書を提出しました。

港区議会は区とともに撤去・返還要請の活動を続けます。

区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか？

年4回発行している「区議会だより」について、3回分(4月、7月、11月)発行予定の表紙を飾る写真(デジタルデータ)を募集します。

【写 真 の テ ー マ】 私が好きな港区の風景(発行月の季節にあった風景)

【応 募 規 定】 1 区内で撮影された横向きの写真(未発表のもの)
2 デジタルデータで5MB以上のJPEGデータ

【応 募 方 法】 1 撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号、写真のコメント(17文字以内)をメールに記入のうえ、応募作品の写真データを添付してください。
2 応募締切 10月15日(次回はNo.214号で11月発行予定です。)
3 送付先E-mail: minatokugikai@jcom.zaq.ne.jp

【そ の 他】 ○人物や個人の所有物を撮影されたものは、本人又は所有者の承諾を得てください。
○必要に応じてトリミング等を行う場合があります。
○掲載時の撮影者名の記載等は相談に応じます。
○掲載された写真の使用権は区議会に帰属します。
○選外の作品については消去し、流出等がないよう取り扱わせていただきます。
○掲載作品の選考は「区議会だより編集委員会」で行います。



作品名「早朝のタワーと雀達」
川崎葉子さん

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京)に折り込んでいます。
◆区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木一丁目)、JR2駅(田町・浜松町)、ゆりかもめ5駅(竹芝・日の出・芝浦頭・お台場海浜公園・台場)などに置いてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。

◆「点字区議会だより」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。

【申し込み・問い合わせ先】区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2921

あとかき

平成29年第2回定例会は6月中旬に開会する予定です。

編 集 委 員	副議長	近 藤 まさ子		
		小 倉 りえこ	池 田 たけし	
		兵 藤 ゆうこ	熊 田 ちづ子	